

金澤北ロータリークラブ



題名：天の川 松任中興8号線面す

横山豊介（よこやま・とよすけ） 1930年(昭和5年)～

富山県井波町に生れる。昭和27年金沢美術工芸大学彫刻科卒、昭和24年日展初入選、昭和42、43年連続特選受賞、45年菊花賞受賞、47年日展審査員就任、以後4回就任、昭和57年北日本美術賞、井波美術協会々長、富山県彫刻家連盟委員長、富山県美術連合会々長を歴任。

現在、日展評議員、日彫会運営委員、北陸日彫会副会長、井波町在住。

「お花について」

石川県健民運動推進本部
花いっぱいコンクール審査委員長

戸出 実氏



花を育てる人は心の綺麗な人ばかりであり、愛情があれば花を育てられる。

プランターの栽培法

1. 鉢の底にある穴を確認（根腐りを防ぐため）。
2. ごろ土を目皿のところに二段ぐらいにしく（赤玉土、軽石、パーライト等）
3. 培養土をいれる（じょうろで水をやる時に水がこぼれるので、水しろを2～3センチほど抜かして培養土をいれる。深さは15センチ。土は赤玉土の小粒、腐葉土、パーミキュライトを6対3対1の割合でブレンドする。最近では花屋やホームセンターに行くとプランターの土、草花の土、花の土というようにすでにブレンドされているものがある。

4. 培養土に湿気を持たす。

5. 肥やしは、根付いてからやる。（肥やしを一週間も10日も忘れてやらないでいると、植物も生き物なので養分がないとうまく育たないので、今市販されている肥やしで窒素、リン酸、カリが8、8、8、という品物があるので、そのような粒状の肥やしを片手で持って花を植えてから花の左側においておき、もう一度花のところにやるという風に二列で肥やしをやる。

6. 水やりをする。春と秋ごろは9時、10時でもいいが真夏は水やりするのは大変で、ラジオ体操をする6時半ごろにやるといい。8時頃になると日が照ってきて土が熱くなったところに水をやっても水が冷たいので、気化現象で根にある水が土に吸い出されてしまうのです。寒い冬には10時頃で十分である。その時は冷たい水ではなく、台所に水置きをしておいて温めるか、ぬるま湯をたしたものをやるとよい。

7. 使用済みのプランターは特に清潔にすること。できればタワシでこすって水洗いをする。台所にある洗剤を使ってプランターや座板を綺麗に洗ってから次のものを植えて欲しい。一度使ったプランターの中にはばい菌や細菌がいっぱいいるので、容器をきれいにしておくのが大切である。

鉢ものの花栽培について

1. 鉢はあまり大きな物を使わないこと。例えば30センチ素焼きの鉢に防虫網を入れ、ごろ土を入れ、培養土を入れ、花を一本植えて育てても、伸びるところか萎縮してしまいます。

2. 防虫ネットを入れる。（なめくじなどの防止の為に）

3. 素焼きのごろ土は、素焼きの鉢が割れた時などに、捨てずに小さなかけらにして素焼きのごろ土に混ぜたものや赤玉土の大粒、軽石、パーライト、コンロのかけらなどがよく、特にコンロのかけらは湿気を取ってくれるのでよい。

4. 使用済みの鉢は先程も言いましたように清潔にしておく。

次に良い土と悪い土について

庭の土も畑の土も雑草が生えれば立派な土であるが、プランターの土、鉢の土としてそれらを使うとき、なぜあまりうまく育たないかといいますと、土は小さな粒であるので、粒子と粒子の間が水浸しになると空気が入らないために、よく育たないわけです。良い土はダンリュウというもので粒子が大きく、粒としては小さな粒が7～10粒集まってできたものであり、その集まった粒子と粒子の間に空気があるのでうまく育つというわけです。一口に言うなれば、畑の土も庭の土も手で持って軽く押してみる。そして押してから軽くもどってくるような土が良い土ということです。

技術があっても良い土があってもなかなかうまく草花は育ちません。

用土の7つの条件

一つは水はけがよいこと（ダンリュウ構造になっているということ）。

二つ目は水持ちがよいこと（保水性）。

三つ目は土壌酸度がよいことが必要です。土壌酸度には4～10までの値があり、4のほうは酸性、7のあたりは中性、10のほうはアルカリ性ということになっていて、植物が育つためには6～7の中性の土壌酸

度が必要である。

四番目には肥料持ちが良いということである。年間100回ほど水やりをするが、その時に肥料持ちが悪いと肥料が水で流れてしまい植物が育たないためです。

五番目には適度に肥料分を保っているということ。

六番目にいくら技術が良くても生遇傷害物を含まないこと。例えば自宅の近くに工場があり、塩酸や硫酸、銅や鉄などの粉が畑やプランターに飛んできて植物がうまく育たないということがあります。

七番目には病中害がないということです。土や買って来た花の中にも病中害などの欠陥がないということが大切なわけです。

昭和58年10月に金沢市市民推奨花を作った。一番目がハナショウブ、二番目にサルビア、三番目にシキザキペコニア、四番目にインパチェンス、五番目にゼラニウムという5種類にしました。

皆さんもこれから作られる時にはこの5種類を愛用して頂ければよいかと思います。

それでは花には水を、人には愛を!! これで終わります。

(文責：荒屋克己)

「舞踊と私」

中村祐子モダンバレエ
アカデミー主宰

中村祐子氏



戦後踊りの世界に入り来年で五十周年を迎えます。ここに来て銅鑼を拝見し今から四十数年前、石川県美術家協会の美術家連盟のパーティーに招かれ踊った時、銅鑼の魚住為楽先生が私の手を握り「いい物を持っているから頑張りなさいよ」と励まして下さった事が、当時二十七、八才の私には非常に心強く嬉しく温かい手を今でも忘れません。銅鑼の音で始まり、ここに銅鑼がある事は先生がここに居て見守って下さる様な気がして本当に嬉しく思います。私の師匠の「石井漢流」はドラで舞台が始まりドラで終る流儀です。前の舞台の時もドラをお借りして公演をしました。来年の五十周年の幕開けは是非ドラで始めたい

と思います。

生徒達も五十才以上の方もいますが、みんな未だヤングと思っています。私の人生観では、還暦は体の細胞がピークで生命体が終る迄あと六十年あるそうです。私はこれから六十年かけてゆっくりおりたいと思います。私達舞台人は生徒やまわりの人に夢を与えねばならないので、あまり老人くさくならない様自分で自分を訓練しなければと思ひ、試みに40才~50才で訓練すると若い時よりも体は軟らかくなり生きて居ると云う事はこんな事かと思ひました。年と共にお役を果し年輪がたったから表現出来るものを生徒達お母さん方の手本になり、同年輩の方が素てきな人生の後半が送れる様少しでも刺激になればと思ひて私自身頑張っています。病気と生命体は別で自分の細胞を大切に使うと120才迄生きられ、皆様も私もまだ若くこれから夢をかけて素晴らしい舞台をゆっくりと作って行きたい。全国のコンクール審査員を30年間休むことなく何百曲のバレエを見て審査し勉強になっている、今迄はユニークな作品が多く出ましたが、近年は次第に踊る若人も先生方も「創造力」が無く前回作品のコピーの様な気がします。戦後金沢でクラシックよりも自由な表現で創造のあるモダンダンスが受け入れられたのは、心を表現する作家・工芸の方が多し金沢の土壤ではないかと思う。青少年育成の為2・3年前から「ゆうすバレエ」を始めて色々批評を頂き、新しい芽と未来の創造力を逞しく出来る人材を造る事が金沢で生れ仕事をさせて頂いたご恩がえしになると思う。戦後こちらに先生がいなく高校中退で東京へ行き修業をした、作品は自分で作るもので、技は習えるけれど創造性は自分でだすもの、だから自分の作品を作って見ようと金沢に帰り研究所を持ち現在に至る。森総理のお父さんと世界平和の為ソ連で三回親善公演をやり大変喜んで頂いた事を思い出しながら、先人の温かい手のぬくもりが私を育ててもらったと思ひ次代の子供達へ、そのぬくもりと金沢の心ある人間に育つようおてつだいをしたい。

(文責：中谷栄治)

「第22回 北遊会競技成績」

平成12年5月25日

今回は1回戦の1局目で、汐井俊彦君が役満(大三元)をあげました。まさに先頭打者ホームランそのものでしたが、最終成績は?マークです。今回で今年度の大会を終了し、磯野進吾君がトータル178点で年間賞の獲得を決定しました。おめでとうございます。次年度も皆様、奮ってご参加をお願い致します。



優勝 駒栄敏雄 +59	汐井俊彦
2位 内山正義 +54	銭亀賢治
3位 磯野進吾 +18	山上啓介
5位 中川和人	参加者8名
BB 中谷栄治	

例会変更・休会のご案内

金 沢RC	6月14日(水)	休会	定款第4条第1節による休会
金 沢 西RC	6月30日(金)	18:00~	「最終夜間例会」 金沢都ホテル
金 沢 北RC	6月29日(木)	18:30~	「最終夜間例会」 松魚亭
金沢香林坊RC	6月19日(月)	18:30~	「やれやれ会」 金沢東急ホテル
金沢みなとRC	6月27日(火)	18:00~	「最終夜間例会」 金沢全日空ホテル

ニコニコボックス

5月18日

金沢RC 小松暁一君
クラブ会報に、私の作品をのせて頂き、ありがとうございました。

松田君 今日、退屈な話をきいて頂きます。

鈴木君 春の叙勲で、勲四等旭日小綬章を頂きました。多くの方々のお蔭です。

木下君 71代議長にさせていただきました。議長になるだけでなく、何か出来るか頑張ってみます。

木村(功)君 本日やっと厄が明けました。ありがとうございます。

合計 18,000円(累計 1,711,000円)

5月25日

七尾みなとRC 佐味君
メーキャップさせていただきます。

中村君 此度の叙勲に際し、皆様より暖かいお礼のことば等をいただき、誠にありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

吉田君 誕生日です。71才です。ちっとも嬉しくもおかしくもおメデタイことありませんが平和な毎日を感謝しています。

合計 33,000円(累計 1,744,000円)

第1310回例会

◆5月18日(木) はれ 12:30~13:30 松魚亭

1. 講話
「思うままに——」
会員 松田忠秋君
2. 出欠
出席39名 欠席34名 出席率53.42%
ビジター14名
3. 来訪者(敬称略)
小松東RC 山腰 茂(弁護士)
金 沢RC 小松暁一 稲崎祥二 大島廣靖
池田東史雄
金沢東RC 松梅益雄 嘉野幸太郎 生井秀隆
金沢南RC 横倉 章 北川泰信 本田仁勝
長坂幸弘 野島耕之介
みなとRC 林 靖生

第1311回例会

◆5月25日(木) はれ 12:30~13:30 松魚亭

1. 講話
「叙勲をうけて」
会員 鈴木 透君
中村三次君
2. 出欠
出席45名 欠席28名 出席率61.64%
ビジター12名
3. 来訪者(敬称略)
七尾みなとRC 佐味貫義
小松東RC 山腰 茂
金 沢RC 小松暁一 池田東史雄 織田義夫
大島廣靖
金沢東RC 坂本憲一
金沢西RC 坂井美紀夫 若林 茂
金沢南RC 辻 弘 辻 彰
香林坊RC 由水煌人
4. 幹事報告
○1997~1998年度交換学生アンディ君来会

会 長：長谷川 塑人 S A A：松平 敦實
会長エレクト：本岡 三千郎 会 計：佐藤 正寿
副 会 長：合田 昌英 広報委員長：銭亀 賢治
幹 事：田中 廣明 会 員 数：78名
副 幹 事：畠 善昭 クラブ設立：昭和48年10月3日

例会日：木曜日 12:30~13:30
例会場：松魚亭 金沢市東山1-38-30
TEL<076>252-2271 FAX252-2273
事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所内
TEL<076>222-2525 FAX224-2882



この会報は再生紙を利用しています。